

きずな(絆)

「住み続けたいまち」へ2年間の活動指針・・・ 第2次「大宮自治活動計画(aiプラン)」決まる

・・・コロナに負けず、つながりを絶やさない

書面による臨時総会で決議

向こう2年間の活動指針となる「第2次大宮自治活動計画」が、書面議決方式による大宮地区自治協議会の臨時総会で承認されました。臨時総会は2月5日に予定されましたが、新型コロナウイルス感染症第6波で予定を許さない状況にありましたので、理事・代議員の皆様へ書面を届けて議決していただきました。活動計画は、骨組み部分と2年間の活動分野別の部会計画とから成り、承認を受けて令和4年度の単年度計画をつくり推進してまいります。

住民総意のビジョン実現へ

活動計画の骨組み部分は次ページに掲載していますが、過って大宮地区の住民の皆様から「どんなまちにしたいか」とのアンケートを募集し、回答の中から三つのビジョンを抽出しました。それは：

- ◎ みんなで創る安全安心なまち
- ◎ 住み続けたい健康で明るいまち
- ◎ 子育てと教育のまち

◎ 子育てと教育のまち・・・GIIIです。そして、ビジョン実現のため17項目の活動目標を掲げて活動計画への展開事例を示し、それを分野ごとに役割を決め活動していくこととなります。

立ち止まらずに、歩み続ける

まだ当分は、マスク生活とワクチン接種が続きます。我儘を強いられることとなります。しかし、人との接触がままならないという日常でも、支え合いやつながりを絶やすわけにはまいりません。

「いつも誰かとつながっている」安心感と心のふれあいは何物にも代え難い生きがいそのものです。そんなまちづくりを総力で進めていきます。

マンション管理組合の皆様へ ——自治協議会への加入のお願い

コロナとともに新しい常態にあっても、地域コミュニティの大切さは変わることなく、人と人とのつながりを絶やすわけにはまいりません。

「つながり、住み続けたい」まちづくりに取り組んでいる大宮地区自治協議会は、奈良市の条例にもとづく地区を包括する組織です。このため総ての方に当事者になっていただきたいと、自治会のない集合住宅の方々へ加入の呼びかけを続けています。ぜひ相談してください。



みんなが当事者・支え手に

大宮地区自治協議会は、大宮小学校区内の総ての方々を対象とする地区代表の組織として市の認定を受けた、みんなの組織です。

これから活動計画を実践していくためには、一人でも多くの方の参加を必要とします。



支援の受け手と支え手の枠をこえた取り組みで、一人ひとりがその能力に応じて「一人はみんなのために」と手を貸していただきたいと願っています。

・・・支え合いの思いをカタチに・・・ おおみや安心システム＝とは？

大宮地区では、前ページで紹介した大宮のビジョンの一つ「みんなで創る安全安心なまち」実現へコロナにも負けないICT（情報通信技術）を活用した安心システムを考え、昨年、この「きずな」やチラシでの広報、説明会・登録会を開催してきました。

この呼びかけで500名を超える方々に登録していただき運用を始めていますが、さらに一定程度の規模が必要なため、登録者の募集を続けています。

システムを活用していただくにはスマートフォンやガラケーの携帯電話が必要です。

なにが出来るのですか

【必須】

- ①災害時の連絡と安全な避難

【任意】

- ②平常時の安否確認

【任意】

- ③イベントの案内や参加の申込み

*【任意】は、登録時に意思表示する



このシステムは、三つの役割があります。まず、**①震度5強以上の地震が起きたときの安否確認メール、また台風や豪雨が予想される時『避難所を開設しました』のメール**を登録者のスマホなどに送信します。(左図)そして登録者は、配信されたメール又はアプリから、ご自分の意志(左図の例)を簡単な操作で選択し返信していただけます。このように、台風や豪雨が来る前に出来るだけ早く避難所を開設して、住民の皆様には**安全なうちに避難**していただくことを第一義とし、このシステムをつくっています。

どんなことをするの(必須)

①災害時の安全な避難

『避難所を開設しました』のメール

メールやアプリから自分の意志選択

【例】

- ①自宅で待機する

- ②自分で歩いて避難所に行く

- ③タクシーを呼んで避難する

- ④しばらく様子を見る

避難所へ



②次に、登録者の任意になりますが、**月1回程度の定期的安否確認**で、希望者に対して毎月1日に配信運用をしています。

ところが、返信の無い登録者が毎回半数程度おられますので、お手数ですが、**送り返して**いただくようお願いいたします。

③さらに、これも登録者の任意になりますが、大宮地区の**イベントの案内や参加者申込み**もできるようにしていきます。イベントなどの運営をスムーズに、ペーパーレスを目指します。

このシステムは避難行動のために活用することから始めましたが、大宮地区で安心して暮らすためのデジタル時代に相応しい方法として、今後へ、いろんな活用の仕方があります。

どんなことをするの(任意)

- ②平常時の安否確認(毎月一定時)



- ③イベントの案内・参加申込み



「おおみや安心システム」の登録会開催 → どんなシステムか?説明し、登録のお手伝いをしました

三笠公民館のハッピー体験ウィークの事業に協賛して2月20日(日)に「おおみや安心システム」への登録会を開催しました。昨年からの登録者の募集をしていますが『関心はあるがどうすればよいのか』などの声がありましたので、安心して登録していただくために顔見知りのスタッフが面談し登録のお手伝いをしました。当日は、この日を待っていた方々が来場され、登録していただきました。「どうしようかと迷っていたが、親切に教えてもらってスッキリした。」など好評でしたので、今後も機会を設けていきます。【おおみや安心システム推進会議】



大宮地区自治協議会

NPO 法人大宮地区社会福祉協議会

私たちと一緒に活動してみませんか?
令和4年4月17日(日) 詳しくは、QRコードから→

広告

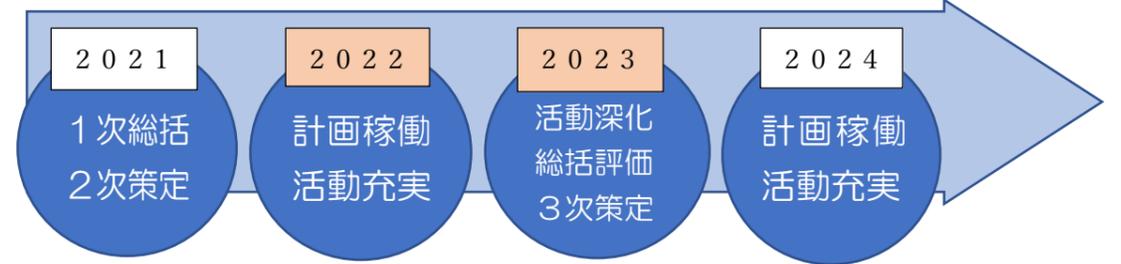
大宮自治活動計画（おおみやaiプラン）

第2次大宮自治活動計画（2年計画としました）

基本理念

ふれあい ささえあい ありがとうのまち

『ふれあい』＝人と人のふれあいのみならず、行政やNPO、企業などとの連携協働を、
『ささえあい』＝隣近所を始めとする大宮地区内のささえあい、行政などとのささえあい、
『ありがとう』＝ふれあい・ささえあうすべての人・組織やものにお互いに感謝することです。



大宮のビジョン

住民アンケートから集約

ビジョン実現のための目標

ゴールめざし、大宮自治活動計画へ展開するターゲット

自治活動計画への展開（事例）

分野別の「部会」へ編成

活動計画を
分野別の
部会へ編成

みんなで創る
安全安心なまち

- ①地震・風水害などに柔軟で強靱なまちづくり
- ②すべての人を対象とする防災の体制づくり
- ③防犯に強く全世代に安心なまちづくり
- ④明日の地域防災防犯を担う人づくり

- a. 備災・防災・減災につながる啓発活動と訓練の実践
- b. 指定避難所・自治会避難場所・事業所等の運営体制の整備
- c. メーリングシステムなど災害情報発信の仕組みの充実
- d. 避難行動要支援者への支え合い「おおみや安心システム」の稼働
- e. 道路拡幅に伴う横断の安全確保、「ゾーン30」の拡大
- f. 防災士会、地域安全推進委員等の人材の発掘育成

【分野別部会】

- 1 自治環境
- 2 安全
- 3 福祉
- 4 育ち支援
- 5 情報人財
- 6 企画財務
- 7 安心安心推進会議
- 8 人権教育推進委員会

住み続けたい
健康で明るいまち

- ⑤今ある交通や公共施設等の資源を生かしたまちづくり
- ⑥佐保川親水公園を拠点とした安心して憩える空間づくり
- ⑦環境整備され、にぎわいや活気のあるまちづくり
- ⑧多世代が集い、ハンディーを感じさせない居場所づくり
- ⑨医療・介護などのサービスが充実したまちづくり
- ⑩社会福祉法人/NPO・企業等との協働によるまちづくり
- ⑪共生社会に呼応し、多様性を認め合う心豊かなまちづくり

- g. 大宮版「ぐるっとパス」の運行（通園・通院・買物 etc）
- h. 親水公園の利活用、堤防道路の安全化など施策の推進
- i. 大宮クリーンアップ作戦（自治会から全域視野に拡大）
- j. コロナ禍を超え、新常态に適應した「にぎわい」の創出
- k. 出会い、ふれあいの場づくりと高齢者支え合いへの支援
- l. 子育て世代等若年層へのアプローチによる集団づくり
- m. 「おおみや安心システム」による安否確認、双方向通信
- n. 地区内医療機関・介護機関・担当行政機関等との連携
- o. 地域包括ケアシステム・認知症ケアへの取り組み
- p. 分野別課題解決組織（部会）への参画呼びかけと協働
- q. 関係機関と連携した人権尊重による共生諸施策の推進

PLAN
DO
CHECK
ACTION

進捗管理し
評価を実践！

子育てと
教育のまち

- ⑫コミュニティースクールの実をあげる地域と人づくり
- ⑬通わせたい学校・園づくりを支援する体制づくり
- ⑭やさしく楽しく安心して子育てができるまちづくり
- ⑮知育・徳育に秀でた若者の育成がなされる環境づくり
- ⑯地域コミュニティの維持発展を支える人づくり
- ⑰自ら生涯現役を目指せる舞台のあるまちづくり

- r. 運営協、教育協、放課後教室、バブルホームとの一元化指向
- s. 地域一体型放課後子ども居場所づくり、学び舎プロジェクト
- t. 幼保小の施設維持管理業務の受託と教職員の業務サポート
- u. 「おはようみまもり、おかえりみまもり」の重層的見守り
- v. 子育て世代同士が集える場所や機会づくりと動機付け
- w. 子ども食堂、塾、遊び空間開設等による居場所づくり
- x. 子どもたちへの社会経験の機会提供による生きる力養成
- y. 地域デビュー講座の開設など社会参加への機会づくり

ビジョンの実現へ、活動計画を遂行するための組織・企画・財務・人財・広報などの整備

活動分野別の部会制と支えるスタッフ部局の設置、事務局の充実